

# NIIGATA UNIVERSITY FACULTY OF ECONOMIC SCIENCES

新潟大学経済科学部

学部案内 2024



「知」が生み出すソリューション。  
社会の課題を解決する学び。



真の強さを学ぶ。

新潟大学  
NIIGATA UNIVERSITY

## 経済学プログラム

ECONOMIC STUDIES

### 経済学を学ぶこと、活かすこと

直江 悠冴さん、藤本 多恵さん、梶澤 碧さん、加藤 仁也さん

#### 経済学を選んだ理由

**直江さん**／経済学は社会学、政治学、法学など様々な学問と関連性が強く、経済学を学ぶことで幅広い視点から社会を見ることができると考え、経済学プログラムを選びました。

#### 関心のあること

**藤本さん**／社会問題を解決する糸口を見つけたいです。よく分からないことは将来への不安に直結し、複雑で難しいことは簡単に答えを出したくなります。しかし時間をかけて問題を考察し、解決の糸口を見いだす方法を、社会の一構成員として考え抜くことに関心を持っています。

#### 学びを活かすには

**梶澤さん**／経済学は日常生活に最も身近な学問と感じています。まだ具体的なビジョンは検討中ですが、普段の学びで得た多角的な視点で物事を分析し、世の中をより良くするためのアイデアを生み出すことに活かしたいです。

**加藤さん**／学生起業や地方ベンチャーに関心があり、実際に自分が起業するのにあたった課題と共に、日本にある様々な社会問題を、金融や経済の観点から考えていきたいです。学んだ知識を活かして金融業務にも携わりたいです。

## 大学で気がつく経営を学ぶ面白さ！

井口 雄二郎さん、渡邊 栞さん、小嶋 平さん

## 経営学プログラム

MANAGEMENT STUDIES

経営学プログラムでは主に企業のことを学びます。3つのゼミに所属する学生に、大学に入學してから気がついた経営を学ぶことの面白さを答えてもらいました。

**渡邊さん**／経営の面白さに気づいたきっかけは、マーケティングの学びです。適切なフレームワークを使って分析することで、自分の知識だけでは到達できないアイデアにたどり着けることを学び、考え方が変わりました！ゼミでは、課題解決の演習や多様な人々との関わりを通して、そのような学びの重要性を再確認し、実践力を身につけていけるように頑張っています！

**小嶋さん**／経営学は些細な疑問を解決する糸口になります。CMに出てくる企業は、まず「あの商品のイメージ」と感じ、次に「なぜその商品を販売したのか？」などといった疑問が出てきませんか。大学ではこれらの疑問を解決するヒントを与えてくれます。経営学を通じて疑問を紐解いていくことが経営を学ぶことの面白さだと思います。

**井口さん**／会計をはじめとする経営学を学ぶことで、漠然としていた社会全体のビジネスの流れを数字として把握することができることです。数字は誰が見ても共通の意味を持つ客観的なもので、何かを理解しようとする時の強い味方になってくれると思います！特に皆が気になるお金儲けの仕組みや経済の動きなど、興味深い内容を知る手助けには必ずです！

## 多彩な視点を身につける

(写真左から)

中林 飛鳥さん、劉 勇康さん、渡邊 紗衣さん、高橋 七好さん

### 学際日本学を選んだ理由

**高橋さん**／高校の時から経済、経営、文学に関心がありました。学際日本学には文学の先生もいて、他の専門も勉強できるのが魅力的でした。

**中林さん**／自由度の高いプログラムなので、勉強したいことが見つけれられると思っています。今はジェンダー問題に興味をもっています。

**渡邊さん**／私も哲学をはじめ色々なことに関心があるので、多様な角度から物事を考える講義がある点が特に気に入っています。

### 学際日本学での学び

**劉さん**／私は中国海洋大学からのDDP<sup>(注)</sup>学生として学んでいます。子どもの頃から親しんでいるアニメを学問として真剣に研究できるので、とても楽しいです。日本語を磨きながら、アニメ研究を続けていきたいです。

**渡邊さん**／英語で行われる日本文化の講義では、英語を学ぶだけでなく、英語で学ぶことにも挑戦しています。

**中林さん**／自分の関心を深めて論文を書くアカデミック・ライティングでは、正解を見つけるだけでなく、自身が納得できる考えをもつことの大切さを知りました。

**高橋さん**／周囲の助けも得られる学生時代だからこそ、やりたいことを追求したいと思います。

(注)DDP=ダブルディグリー・プログラム。海外の協定校と新潟大学の双方において学位が取得できる交換留学制度。学際日本学では多様な背景を持つ学生たちと学ぶ共修環境が整えられています。



## 地域リーダープログラム

REGIONAL LEADERSHIP STUDIES

### 地域に飛び込み、自分を探す旅

(写真左から)

木村 泰朗さん、吉川 さくらさん、  
佐藤 優樹さん、齋藤 綺さん

ここで学ぶ魅力は、学生それぞれが向き合いたいくなるものを見つけれられるきっかけが多いことです。この魅力は、学校外に飛び出して、世代にも分野にも縛られない多様な人々と出会えるというこのプログラムならではの体系によって生まれています。

行政職員と共に地域課題に対する政策を考えたり、中高生の想いを社会のなかで形にするサポートをしたり、県内企業と連携してプロジェクトを進めたり、沢山の出会いの機会があります。地域の大人や子ども達とそれぞれの課題や興味関心に一緒に取り組むことで、それを自分ごと化することができます。それによって自分について考える材料ができ、自らの想いをブラッシュアップできます。そこから実際に自分の想いを突き詰めるために大学で学ぶ人もいれば、留学する人、学生自身で学外プロジェクトを立案し実行する人、関連分野でインターンシップ

にいく人もいて多様な展開が生まれており、それを応援してくれる体制も整っています。

ぜひ、このプログラムで自分自身を探しに行きましょう！



# 経済から、多面的に、人間を、世界を、知る

経済科学部ではなにを学ぶの？



／なんでやねん！／

動画の方が  
分かりやすいよ！



経済科学部ではなにを学ぶの？

## POINT 1

**経済にフォーカスして  
社会を分かろうとする学びです。**

社会の重要な側面である経済にフォーカスして社会を分かろうとするのが経済科学部の学びです。経済とは、あらゆる人間活動にかかわる、モノの生産・分配・消費の関係やカネの動きのことです。だから、世界経済、国民の豊かさ、企業の製品・サービス、地域創生、クールジャパン、などの多様な事象が学びの対象となります。



なぜ、経済学部ではなく、  
経済科学部なの？

## POINT 2

**複雑に変化する現代社会の  
経済を捉えるには、  
新しい視野が必要です。**

経済科学部では、経済や経営の伝統的な学問体系に、多様な学問領域の視野を加えることで、新しい学び方で、経済を多面的に見る目を養っていきます。

### 対談 「価格」を多面的に見てみる

**有元**／経済科学部の面白さは、一つのことを多様な見方で学べることでしょう。例えば「価格」。これも様々な見方ができますね。

**高宮**／そうですね。経済理論的には「価格」とはモノを欲しがっている人に配るための「工夫」にすぎません。モノは人に役立つから価値がある。でも「価格」に慣れてしまうと「値段が高いから価値がある」と思い込んでしまう。

**有元**／例えば、2000円のハサミと100円のハサミとを比べると、2000円のハサミの方が価値が高いと感じます。切れ味などの本質的な価値に加えて、高いお金を払っているという事実に影響を受けることはよくあります。

**高宮**／そう！人は値段と品質を比べて「お買い得」をめざすけど、値段が高いこと自体がある種の「品質」になることもある。「価格」は「コトバ」みたいな「意味」を持つメッセージなんです。だから、いろいろな立場から読み解けます。経済学では「個人と企業の合理的な判断」の集積として読み解く。

**有元**／経営学や会計学では、別の見方をすることがあります。企業側に価格の決定権はなく、お客様が決めるものとする考え方です。お客様が決める価格をもとに、それよりも少ないコストで製品を提供し、利益を獲得しようと努力しま

す。トヨタ自動車はその考え方を世界に広めた企業としてよく知られています。

**高宮**／価格がコトバだとしたら、その使い方にも企業ごとの「個性」がある。逆にAppleだと企業が価格を決定している？(笑)。

**有元**／iPhoneが初めて発売されたとき、それが高いのか安いのかすら分からないくらい革新的な製品でした。その価格にはAppleからのメッセージが込められていたと思います。当然、企業側から価格を提案するという考え方もある

わけです。

**高宮**／経営学は企業の「個性」に寄り添った見方をすると言えるかも。対して、経済学は個性を抜き取った「一般原則」に注目する。例えるなら、経営学は「文学」で経済学は「言語学」。一方、その中間というか、国や地域の「文化」に寄り添った見方もできる。学際的な立場から「日本的な価格」を論じるのも有意義です。

**有元**／単なる数字に見える価格ですが、経済を学ぶ面白みがたくさん詰まっていますね。





4つのプログラムはなにが違うの？

## POINT 3

**なにを用いて、どのように  
学ぶのかに違いがあります。**

経済科学部には、経済学プログラム・経営学プログラム・学際日本学プログラム・地域リーダープログラムがあります。各プログラムの違いは、

- なにを分析するか
  - どのような学問領域を用いるのか、組み合わせるのか
  - どのように学ぶのか
- にあります。

次ページ以降の各プログラムの特色を参照してください。

# 卒業までのカリキュラム

## 4プログラム制

FOUR PROGRAMS

経済科学部には、特徴的な4つのプログラムがあります。共通の入試において入学した1年生は、4プログラムに共通する基礎科目や大学学習法などを学びます。2年生からプログラム選択を行い、様々な科目や演習などを履修しながら、当該プログラムでの専門性を追求します。また、自身の研究やキャリアのために必要ならば、プログラムを越えた科目の履修も可能です。

**卒業**  
広がる未来へ

4  
年生

演習(ゼミ)で専門性を追求するとともに、卒業論文を執筆します。

3  
年生

演習(ゼミ)を中心とした専門科目を学びます。

**演習(ゼミ)選択**

2  
年生

各プログラムの専門性に必要な基礎知識を学びます。

**プログラム選択**

1  
年生

経済に関連する入門科目や教養科目などを学びます。

4プログラム共通の基礎教育

取得できる教員免許  
高校1種(商業)

動画はこちらから

## 経済学プログラム

ECONOMIC STUDIES



### プログラムの概要

経済学は、生産・流通・消費という人間にとって欠かせない活動を対象とする学問です。

本プログラムでは、経済学の多様な考え方を学び、我々が日々直面する経済問題を分析する能力を養います。また、日本だけでなく、アジアやヨーロッパをはじめとしたグローバル経済の専門的知識も修得することができます。

### 学び方の特徴

経済学に関する専門知識を体系的に身に付け、社会現象や現代社会を正しく理解、分析する能力を身に付けます。また、ゼミ形式で、現実の社会問題を根源的に考察したり解決策を模索することで、経済学の知識を常に現実の問題と結びつけ、幅広い視野を持って課題解決に取り組める能力を身に付けます。

### TOPICS

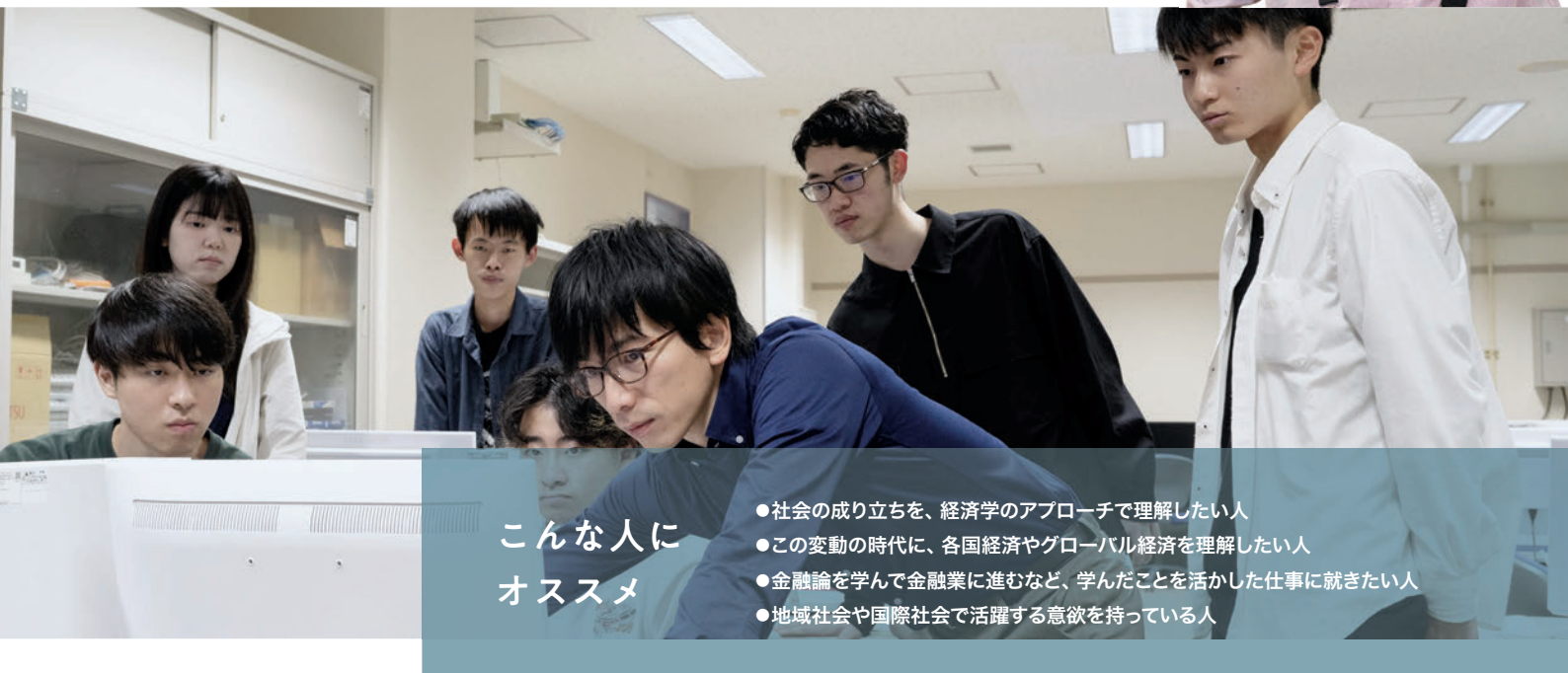
#### インセンティブの力

人はインセンティブに反応する。他は注釈に過ぎない。経済学者はこれがどんなときも事実だと考えます。

各自治体の資源ごみ回収をインセンティブで考えてみましょう。資源ごみと一般ゴミとは区別して回収されます。資源ごみの中の現金化できるアルミ缶や古紙は、回収場所から無断で持ち去る人がいます。これは窃盗ですが、別の見方では、自発的に無料でゴミを運搬してくれていると言えます。これらの資源ごみの買取業者が存在するため、自発的に無断で回収してまわるのです。ところが税金でこの自発的の持ち去りを取り締まり、税金でそれらの資源ごみを回収し、買取業者に売っています。自治

体側の言い分としては、この売上が自治体の財源の一部になり、自発的の持ち去りは窃盗であるため、警察に取り締まってもらう。しかし、この売上が得るためのコストは無視されています。自発的に持ち去られたあとのゴミだけを回収すれば、回収量は減少し、費用は下げられますし、警察費用も抑えられます。インセンティブ戦略を使って、自治体の資源ごみ売却を目指すなら、住民税の一部を資源ごみ持ち込みで支払えるようにすればよい。しかし、それよりも、持ち去る人に任せる方が効率的です。資源ごみを自治体が回収する以前は、資源ごみをトイレットペーパーと交換して回る業者が存在していました。この回収業者が消えた理由は、買取価格が回収費用を下回ったからです。

内藤 雅一  
国際経済学・  
応用ミクロ経済学



こんな人に  
オススメ

- 社会の成り立ちを、経済学のアプローチで理解したい人
- この変動の時代に、各国経済やグローバル経済を理解したい人
- 金融論を学んで金融業に進むなど、学んだことを活かした仕事に就きたい人
- 地域社会や国際社会で活躍する意欲を持っている人



## こんな人にオススメ

- 株式会社など企業に興味がある人
- アイデアをビジネスの形にしたい人
- 企業への就職や企業をサポートする仕事に就きたい人
- 簿記などの会計知識を活かして会計専門職を目指したい人

動画はこちらから



# 経営学プログラム

MANAGEMENT STUDIES

## プログラムの概要

経営学プログラムでは組織について学びます。経営を広く理解する経営学、組織の活動を貨幣単位で表現する会計学を主たる学問領域とし、組織に関わるあらゆる現象を理解・分析する力を養います。その分析対象は、主として株式会社に代表される企業ですが、地方自治体や非営利組織など様々な組織も学問の対象となります。

## 学び方の特徴

経営学プログラムの特徴は、経営学・会計学の学問体系を様々な事例を通じて理解していく点にあります。講義では、専門知識を体系的に身に付け、組織を理解する・分析する能力を身に付けます。演習(ゼミ)や卒業論文ではより主体的かつ実践的に学びます。また会計専門職(公認会計士や税理士)を目指す学生に対するカリキュラムも準備しています。

## TOPICS

### ポイントサービスの経営学

- ポイントサービスってなに？
- ポイントって仮想通貨や電子マネーとなにが違うの？
- ポイントには独自ポイントと共通ポイントがあるけど、これらの違いはなに？
- どういう企業が独自ポイントを利用しているの？
- いろんな共通ポイントサービスがあるけど、共通ポイントの魅力を企業はどうやって高めようとしているの？
- 企業はポイント還元率をどのように決めているの？
- ポイント還元して企業は本当に儲かっているの？
- 企業が儲かっているかは、どうしたらわかるの？
- ポイントサービスを提供している企業の税金はどうなっているの？

身近なポイントサービスを題材に、経営学プログラムに関するトピックスを皆さんに問いかけてみました。このような問いに自ら答えられるように、一緒に学びましょう！

加井久雄  
国際会計論・  
分析的会計研究



### 中小企業のダイバーシティ人材を どうかすべきか

よく企業経営は「ヒト、モノ、カネ」の三本柱から成り立つといわれています。近年では、経営のグローバル化が進むにつれて、「ヒト」の重要性がますます問われるようになりました。ヒトは文化的に多様な背景を有するがゆえに、全員に共通した企業理念を理解してもらい、ダイバーシティ人材をいかすことは企業の競争力の鍵となります。社内のさまざまな属性グループが持つ相違に重心を置き、上手に活用していくことは「企業経営」の要でもあります。特に、日本の殆どの企業割合を占める中小企業こそが取り組むべき課題であるにもかかわらず、まだあまり定着していないのが現状です。中小企業をはじめ、組織の多様性について研究をしています。

張文婷  
中小企業論・  
ダイバーシティ・  
マネジメント論



# 学際日本学プログラム

INTERDISCIPLINARY JAPANESE STUDIES

動画はこちらから



## プログラムの概要

学際日本学は、社会科学と人文科学の垣根を越えて、政治・経済から思想やアニメーションに至る、「日本」の社会と文化の幅広い問題を対象とします。留学生との対話を積極的にカリキュラムに取り入れ、異なる境遇や価値観の人々と共に学び、現代日本の課題を見つめなおし、積極的に情報発信する姿勢を身に付けることができます。

## 学び方の特徴

複数の人文社会科学分野の基礎知識を選択し、修得することによって、「日本」を多角的に分析し、理解する方法を学びます。グローバルな視点から日本をめぐる問題を理解するために、外国語の学修を重視します。留学生をまじえたゼミで活発な議論を繰り返すことによって、粘り強い対話力と協働力、課題解決能力を身に付けます。

## TOPICS

高垣 里衣  
西洋経済史

### 世界を知り、グローバル化した社会を 生き抜くための経済史研究

スペインを構成する一地域であり、大西洋に面したバスク自治州の港湾都市を研究対象として、ローカルな地域を持つ、国家を超えたダイナミズムを、商業史・経済史の視点から研究しています。スペインとは異なる独自の言語や文化を継承しつつもスペインという国家の枠組みの中に存在しているバスクの商人は、南北アメリカ大陸、マニラ、中国、インド、アフリカなど世界のあちこちに出ていって、異文化を持つ人々とネットワークや信用関係を構築して貿易を行っていました。現代人が所与のものと考えている「国家」という近代的枠組みに基づく思考から脱却することで、ローカルな人々の国家の枠に捉われない活動が、国家や帝国に対し与えた経済的影響を明らかにしようとしています。

他にも、バスク人はヨーロッパで一番最初に捕鯨を行った人々であり、漁業が栄えた地域であることから、捕鯨と漁業を環境史の視点から考える共同研究も行っています。

我々がグローバル化した現代世界を知り、生き抜くためには、「世界」を構成している諸地域の歴史や経済システムの成立過程を学ぶ必要があります。そのような、諸地域の連関を考える研究潮流を「グローバルヒストリー」と呼びます。無論、世界を見ているだけではなく、地に足をつける必要があります。グローバルヒストリー研究では、何よりもローカルの存在が必要です。地道な地域研究や経済分析を行いつつも、大きな世界を見通す研究が必要なのです。



こんな人に  
オススメ

- いろんな視点から「日本」について、理解を深めたい人
- 自分の常識を壊してくれる国に行ってみたい人
- 国際的な視野を身につけたい人
- なにかをやってみたいけれど、まだそれが決まっていない人
- 外国語を使って文化実践をおこなってみたい人



# 地域リーダープログラム

REGIONAL LEADERSHIP STUDIES

動画はこちらから



## こんな人にオススメ

- 属する組織の名前のみならず自分の名前でも活動したい人
- プロジェクトを実現させるチームに加わりたい人
- 社会を知るために大学外の人々とも協働したい人
- 経済学と経営学を軸に、人文学や法学も学びたい人

## プログラムの概要

将来を見通せない現代社会では、課題を分析するための幅広い知識だけでなく、自ら解決策を立てリーダーシップを持って実行できる人材が求められます。本プログラムでは、未来の地域社会で活躍できる人材を育成するため、専門知識と課題解決に必要なスキルの学習とこれらの知識・スキルの活用・実践を有機的に組み合わせた教育を行っています。

## 学び方の特徴

最初に、社会の理解・分析に必要な経済学や経営学などの専門知識と課題解決に必要なスキルを学びます。その後、これらの知識・スキルを学内のゼミナールや学外の課題解決活動で活用・実践します。このプロセスを段階的に繰り返し、課題解決能力を総合的に高めます。主な授業科目には、課題解決スキル、社会調査演習、課題演習、社会開放演習があります。

## TOPICS

### 多様化する現代社会での地域リーダープログラム

現代社会では、全ての人がこれまで経験したことがない課題に直面し、それに対して分からないといって立ち止まることが許されません。地域リーダープログラムは、こうした時代を生涯にわたり活躍できるような人材を育成することを目指して作られました。担当教員それぞれは、学生一人一人が唯一無二の存在として未来社会で活躍できる人になれる大学教育を作ろうと、日々格闘しています。

### 多様な背景をもつ担当教員

地域リーダープログラムの担当教員は多種多様な背景を持っています。研究分野に限っても、財政学、地方行財政といった経済学に近い分野だけでなく、書文化、フランス語教育、高等教育学、義務教育課程での子どもの権利というように広範囲にわたります。また、長い時間をかけた教育・研究活動を通じて一つのモノの見方に精通して

います。学生の皆さんは、学内外で行われる授業でプログラム担当教員と積極的に関わることで、それぞれの教員がもつ独自の世界観を肌で感じ取ることができるでしょう。

### 多様な学び方

地域リーダープログラムの学びは、専門知識に加え、考える、調べる、他者と協働するスキルを身に付け、それらを学内外で行う授業で活用・実践することを組み合わせた学びです。

とくに、知識・スキルを活用・実践する授業として、社会問題を深く探究する授業だけでなく、企業や行政、団体などと連携して中高生や社会人と協働して地域の課題解決活動に取り組む授業も数多く設けています。学生の皆さんは、これらの授業から個々の興味・関心に応じて選択・実践できますので、自身の目標に合わせた個性的な学びを創造できるでしょう。

中東雅樹  
財政学



# STUDY FOR INTERNATIONAL PERSPECTIVE

世界に広がる学び

経済科学部では、提携大学・提携学部との交換留学、サマーキャンプなどの各種企画、留学生との共修などを通じて、国際的な視野を養うことが可能です。グローバルな視点を身に付けたいと考える学生を、経済科学部では積極的に応援して参ります。



## AUSTRALIA

シドニー工科大学交換留学

4年 渡邊 俊太郎

雄大な自然とダイバーシティを  
存分に感じる環境で  
のびのびとした留学生活を送る。

## FRANCE

ナント大学交換留学

3年 芳賀 裕太郎

ガトーショコラ、クレープ、ガレット、  
クロワッサン、ビーフブルギニョン…  
最高に美味しかった。



約4ヶ月間、フランス語やフランスの文化について学びました。大学は多くの留学生が学んでおり、彼らとの交流を通して世界各国の価値観や生活の違いをあらためて感じ、同時に皆で共有しました。休日にはルーブル美術館をはじめとした芸術や美味しい食べものなど、世界でも有名な文化を体験できました。また友人とフェスティバルやクリスマスマーケットに参加し、たくさんの思い出ができました。



半年間、留学先の大学でオーストラリアの自然、歴史、文化、アカデミックライティングについて体系的に学びました。豪州最大の都市の一つであるシドニーの街の特徴は、先進的である一方、イギリス植民地時代から残る歴史的な景観も有しています。そして気候は晴天率が高くて温暖であるため、とても過ごしやすく、また治安も良好です。故に世界各国から多くの留学生が訪れるため、貴重な異文化交流の機会を多く得ることができました。

## 交換留学(長期・短期)

3か月、半年、1年などの長期・短期交換留学に挑戦する学生がいます。また、海外の交流協定校から留学してくる学生もいます。

(注) 交換留学とは、協定校と互いに受入学生の学費を不徴収とする留学を指し、在学学生は本学に学費を納めている期間中であれば、交換留学先の学費が免除されます。

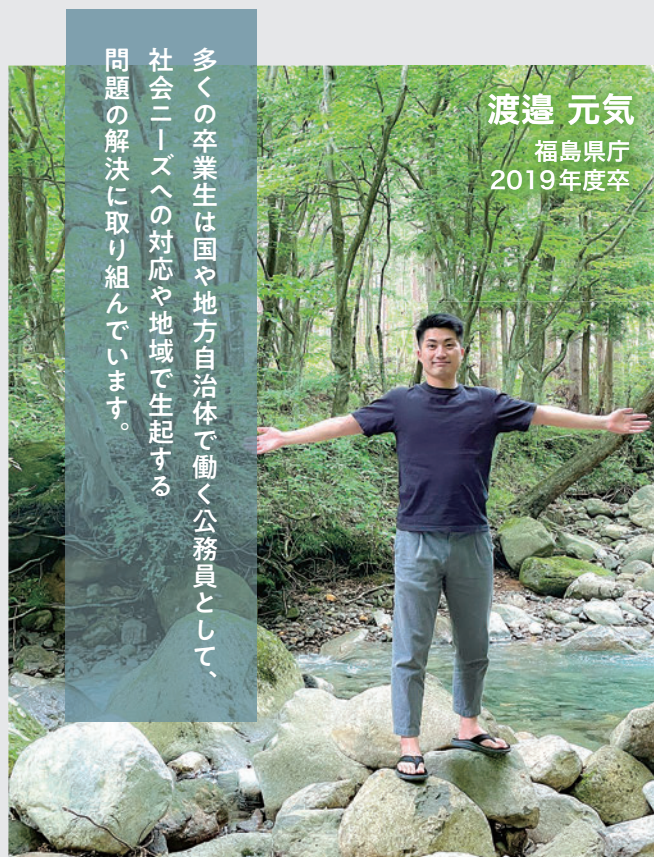
交換留学には学内選考が課される場合もあります。このほかにも多様な留学先・方法があります。留学先へ学費を納める私費留学の形で、英語圏のカナダ・アルバータ大学とも交流協定があり、本学部を休学して留学するケースが多いです。



# CAREER PROSPECT

広がるキャリアの可能性

卒業後の進路は公務員や金融業をはじめとして多岐にわたり、卒業生は全国各地で幅広く活躍しています。経済学部でもインターンシップ科目があります。みなさんが就職活動を行うときには、大学キャリアセンターによる手厚いサポートに加えて、頼れる先輩たちからバックアップしてもらうことができます。



渡邊 元気  
福島県庁  
2019年度卒

多くの卒業生は国や地方自治体で働く公務員として、社会ニーズへの対応や地域で生起する問題の解決に取り組んでいます。



池田 琴美  
新潟県労働金庫  
2016年度卒

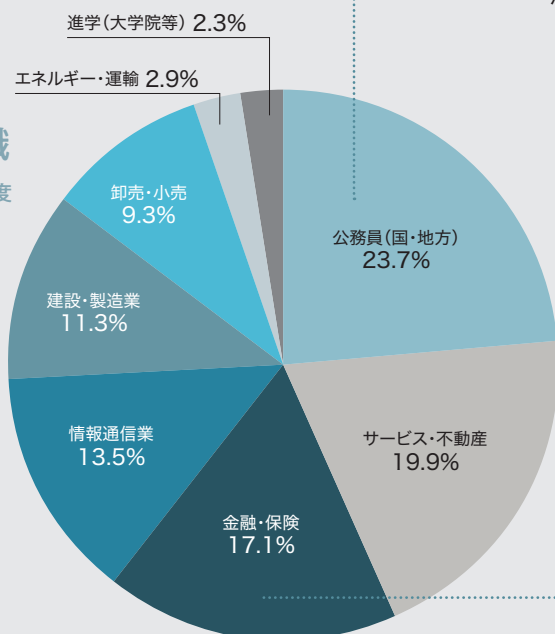
金融業に就職した卒業生は、主に地方銀行に就職しそれぞれの地域における企業活動を資金面や経営面から支える仕事をしています。

大学では、地域の課題を設定し、その解決に向けて自ら考え、また、グループワークや現地での情報収集等をおとして広くアンテナを張り、いかにして地域の課題を克服するかを学びました。私は現在福島県双葉郡の復興業務に携わっており、震災からの復興の様子発信や双葉郡の魅力発信、復興イベントの企画に取り組んでいます。情報発信方法の工夫やより良い企画のアイデアを考える上で、新潟大学で培ったスキルや経験が土台となっており、「復興」という前例のない業務に取り組んでいく上で、それらが活着していると実感しています。皆さんが新潟大学で学び、公務員として国や地方自治体で活躍する姿が見れるのを楽しみにしております。

金融機関の仕事は、お客様の預金を管理する預金係、資金を必要とするお客様に貸付を行う融資係、お客様にセールス業を行う渉外係の3つに分けられ、生きていく上で大切であるお金という面から人々をサポートしていく業務です。大学の授業から実際に働いてみて役立ったと思うことは、経済用語や利子・利息の計算に慣れていたこと、簿記により貸借の概念を理解できたことなどです。授業によって金融機関に触れた内容も学習したので、金融機関という組織自体の知識も身につきました。また、簿記は実際の法人融資業務などに直結することもあると思います。新潟大学での学びをきっかけに金融機関へ就職し、今の私があります。学んだことを忘れずに、これからも人々のために業務に精進していきたいと思います。

## 卒業生の進路・就職

2020～2022年度



## キャリア支援(サポート)

本学部は、学生に対する以下のようなキャリア支援を行っています。

- 外部講師を招いたキャリアガイダンス・就職相談会
- 新潟県内企業や新潟県庁・新潟市役所など官公庁でのインターンシップ(成果報告会も開催)
- 会計・税理士事務所での会計税務インターンシップ
- 本学キャリア・就職支援オフィスと連携して行う個別指導

※本コーナー記載の内容は経済学部での実績です。



学部で学ぶことを正確に理解して大学に入学することはまずないと思います。私の場合、経済と歴史の関係に興味があり、経済史を勉強したいと思い経済学部に進学しました。しかし、入学後より興味を持った講義はやや数学的な経済理論に関するものでした。景気の良し悪しなど大きな経済を分析するマクロ経済学、大きな経済を構成する企業、家計などの小さい経済を分析するミクロ経済学などの近代経済学に興味を持ち、近代経済学の理論を

主として勉強するようになりました。私のように入学後に興味関心の中心が変わる場合もあると思います。

経済科学部には4つのプログラムがあります。1年次にプログラムに共通する基本的なことをしっかりと学んでもらった後で1つのプログラムを選んでもらいます。経済学プログラムでは近代経済学、経済史など幅広く経済について学ぶことができます。経営学プログラムでは経営学、会計学など会社経営に役立つことを学ぶことが

できます。経済学、経営学プログラムを選ぶことで経済学あるいは経営学の理解を深めるだけでなく、グローバル化した社会を考えるための学際日本学プログラム、地域社会を考えるための地域リーダープログラムを選んで経済学・経営学を広げて学ぶこともできます。社会、経済に興味のある人であれば4つのプログラムの中から特に興味を持てるプログラムを見つけることができます。社会、経済に興味のある受験生を我々は歓迎いたします。

## 入試情報

※各選抜で課す教科・科目、配点、その他入試情報に関しては、新潟大学ホームページより最新の情報をご確認ください。

| 経済科学部 総合経済学科 |      |      |                                                         |
|--------------|------|------|---------------------------------------------------------|
| 選抜区分         |      | 募集人員 | 判定基準                                                    |
| 一般選抜         | 前期日程 | 180人 | 大学入学共通テストと個別学力検査の総合点の上位から順位付けを行い、調査書の内容を加味して総合的に合否判定する。 |
|              | 後期日程 | 80人  | 大学入学共通テストの成績上位から順位付けを行い、調査書の内容を加味して総合的に合否判定する。          |
| 総合型選抜        |      | 30人  | 書類審査、小論文及び面接の総合点の上位から順位付けを行い、合否判定する。                    |
| 学校推薦型選抜      |      | 60人  | 15人*<br>45人**<br>総合問題と出願書類の総合点の上位から順位付けを行い、合否判定する。      |
| 社会人特別選抜      |      | 若干人  | 小論文の得点の上位から順位付けを行い、調査書など出願書類の内容を加味して総合的に合否判定する。         |
| 帰国生徒特別選抜     |      | 若干人  | 小論文の評価及び面接の評価に出願書類の内容を加味して総合的に合否判定する。                   |
| 私費外国人留学生特別選抜 |      | 若干人  | 個別学力検査に提出書類の内容（日本留学試験及びTOEFLを含む）を加味して総合的に合否判定する。        |

\*商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者（学科の指定なし） \*\*範囲の指定なし

最新の入試情報は、  
新潟大学ホームページを  
ご確認ください。



真の強さを学ぶ。  
**新潟大学**  
NIIGATA UNIVERSITY

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050  
TEL 025-262-6284 (経済学部学務係)  
URL <https://www.econ.niigata-u.ac.jp>  
E-mail [toki@econ.niigata-u.ac.jp](mailto:toki@econ.niigata-u.ac.jp)



2023年7月発行